



荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 鎌田博一  
編集責任者 常盤達雄

No.1739

2011年  
10月5日

# 国労加入を 大胆に訴えよう

委員長に鎌田博一氏が当選したのをはじめ、新役員と地方委員が決定した。第八〇回全国大会で本部委員長になり、東京地本委員長から退任する石上委員長からあいさつがあり、続いて新役員からあいさつを受けた。

最後に特別決議と大会宣言が読み上げられ、承認を受け議長団から退任のあいさつがされたあと、稲荷副委員長から閉会あいさつを受けた。

来賓で来られた方々(敬称略)

東京交運労協	副議長	松井稔
東京平和運動センター	議長	長谷川信康
東京全労協	事務局長	久保聡
東京地評	議長	伊藤潤一
自治労東京	副委員長	勝島一博
全水道東水労	委員長	上村時彦
社会民主党東京都連合幹事長		中川直人
日本共産党東京都委員会	都議会議員	たぞえ民夫
中央労金荒川支店	支店長	佐藤潤
交運共済東日本事業本部	本部長	
退職者の会		宮坂義久
国労会館	専務理事	堀本秀雄
メッセージをいただいた団体		伊藤秀樹
東京都労働組合連合会(都労連)		
国鉄労働組合	水戸地方本部	
国鉄労働組合	新潟地方本部	
国鉄労働組合	高崎地方本部	
国鉄労働組合	秋田地方本部	
国鉄労働組合	近畿地方本部	

# 第62回地方大会開催 鎌田新委員長を選出

東京地方本部は九月一七(一八)日に、明会館において第六二回定期地方大会を開催した。

九時三〇分に稲荷副委員長の開会あいさつが行われ、大会議長には三留代議員(新橋支部)を、副議長には車塚代議員(上野支部)を選出し大会が始まった。

石上委員長のあいさつを受け、東京交運労協、東京平和運動センターをはじめ、かけつけた多くの来賓の方々から激励のあいさつをいただいた。



経過報告と運動方針(案)を一括して松川書記長から提案され、続いて組織検討委員会報告がされた。経過に対する質疑が八名の代議員から行われ、拍手で承認された。決算報告の承認、選挙告示の後、方針討議に移ったが、時間の関係上発言は三名で一日目は終了。

## 執行委員長あいさつ



執行委員長の石上です。執行委員会を代表しご挨拶させていただきます。

昨年の大会で確認した諸方針に基づき奮闘され、この間の運動の成果と教訓、課題を共有するため結集された皆さんに敬意を表します。さらには、ご指導をいただいております来賓の皆さん、国労弁護団をはじめ、関係者の方々には激励に駆けつけていただき、御礼を申し上げます。

さて、三月一日に発生した「東日本大震災」は、地震被害はもとより、巨大津波を引き起こし、甚大な被害をもたらしまし

二日目は九時三〇分に議事が再開され、祝電・メッセージの紹介のあと方針討議が再開された。一五名の代議員からの一般討論と東京闘争団原田団長の特別発言が行われ、書記長集約のあと拍手で承認がされ二〇一一年度の運動方針が確立した。



また、JR東日本や貨物会社では鉄道施設や車両、路線が流失するなどの被害を受けました。復旧には大規模な工事が必要となり、震災復興後の「まちづくり」とあり、公的支援をはじめ、今後の動きが大きな課題となっております。

最初、最大の課題であった「一〇四七名不採用問題」についてであります。昨年六月の鉄道・運輸機構との和解以降、今年六月一〇日に民主党・社民党・国民新党の三党から政府に対して雇用実現に向けた要請が、一三日には国交省からJR各社に対し三党の要請が伝えられました。

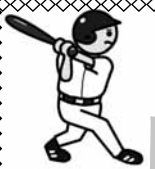
一方、JR各社は、受け入れられないと「基本的考え方」を表明し、「四者・四団体」は、こうした事態を受けて六月二三日に運動の総括を行うとともに、運動の到達点について意思統一を行い、六月三〇日をもって「四者・四団体」は解散をいたしました。

また、「安全・安定輸送」によって信頼が支えられているという原点を忘れてはなりません。私たちは、「安全が最優先される」企業文化の定着を求めているのではなく、労働組合の役割が極めて大切となっております。信頼回復に向けた日常不断の運動を一層強化しなければなりません。

組織強化・拡大に向けた取り組みは今、大きく展望の持てる組織へと全機関が歩み出す時期にきました。他労組に不満を持つ仲間たちがこの職場にもおり、その数は急増しています。新規採用者加入獲得とあわせ、契約社員の加入促進ならびに正社員化の取り組みの強化が求められています。

また、今回の原発事故は、想定外です。また、今回の原発事故は、想定外です。また、今回の原発事故は、想定外です。

最後にありますが、「健全な労使関係の確立と労働条件改善」「安全・安定輸送の確立」「組織の強化・拡大」の諸課題の解決・実現にむけて国労東京地方本部が運動の先頭に立って奮闘する決意を申し上げます。執行委員会を代表しての挨拶とします。(紙面の都合で一部を割愛しました)



# 国労東京野球大会

## 八王子地区協会の3連覇



第三九回国労東京軟式野球大会決勝は、予定していた九月一日が台風で延期となり、九月一日に大井スポーツセンターで開催された。

一〇時に準決勝が開始され、神奈川Bチーム(中原電車区)対八王子Aチーム(豊田車両センター)の試合のピッチャーは三沢選手(神奈川B)と吉田選手(八王子A)がマウンドに立った。一回裏神奈川Bは二塁打から盗塁、悪送球の間にまず一点。三回裏には数野選手の犠牲フライで一点を追加し、さらに単打を重ねこの回四点をあげ試合を決めた。

決勝は昼食休憩のあと二時半から神奈川B(中原電車区)対八王子B(八王子地区協)の組み合わせが始まった。ピッチャーは緑川選手(八王子B)と三沢選手(神奈川B)。三回裏八王子Bは二・三塁から渡

部選手のヒットで一点をあげ、さらに悪送球の間にもう一点を上げた。四回裏には渡辺選手・堀川選手の連続ヒットを皮切りに三点を追加。六回裏には一・三塁から渡部選手二盗でキャッチャーがセカンドに投げた瞬間に水越選手が判断良く本塁に突入し一点を上げ、続いて佐藤新選手がライトへ三塁打を打ち一点を入れてダメを押しした。神奈川Bは最終回の七回裏に太田選手の右中間タイムリーヒットで二点を上げたが追いつけなかった。

この結果、優勝の八王子地区協チームは三連覇を達成した。準優勝は神奈川B、三位は八王子Aチームと決まり、今年震災で開催できず、来年開催となった東日本本都野球大会は八王子Bと神奈川Bの二チームが出場する。再び好試合が見られる事を期待したい。

### 組織拡大・労働条件改善

### 経験交流集會を開催

東京地本は九月三日・四日に第一九回目となる組織拡大・労働条件改善経験交流集會を三浦のマホロバ・マインズで開催した。

稲荷副委員長から主催者あいさつがされ、続いて、国労本部鈴木執行委員から六月に広島で行われた組織拡大全国交流会の内容を中心に、全国の組織強化・拡大の現状と特徴を報告していただいた。

報告として、上野支部執行委員の金子さんから「新規採用者へ多くの分会で何らかの取り組みを行った。説明会を行ったが、すぐ加入しなかった方の所へA労組は毎日行った。国労はその後行かなかった。まだまだ取り組みが足りない。執念が足りない。結果を出すのが目標」などの報告がされた。大井工場支部榎井執行委員から「昨

年のこの集會の直後に加入があった。病気で長期休業した直後にA労組から選挙動員の要請で、一昨年の研修合理化提案のあとに選挙ばかり。自分の職場は？自分の健康は？といった不安を国労の人に聞いてもらった。」などの報告が続いた。最後に七月に新規採用者の加入があった大船保技七分會武藤分会長からは「三月に分会として新入社員に組合説明会を行う方針を立てた。三人の新入社員のうち二人は結局A労組に加入。一人未加入の状態だったが歓迎会も行った。拡大には特効薬は無く、やってみて反省点が出てくる」などの報告がされた。宮崎組織部長からの基調提起がされた。分散交流会が行われ、さらに細かくそれぞれの職場の問題の突き合せが行われ



第39回国労東京委員長杯争奪軟式野球大会優勝チーム

二日目は昨日の分散会報告が行われ、その報告を基にパネルディスカッションが行われ、様々な報告や意見が出された。

最後に松川書記長から「武蔵小金井駅で国労加入した中嶋君の交流会の感想に『国労の親父の姿』という言葉がある。子は親を見て育つという言葉もあるが、若い人たちが自分の背中がどう見えているのかも一度考えてほしい。国労に加入してくる人は、人を見て入ってくる。国労の方針の基でそれぞれ頑張っている姿、何かあったら動いてくれる人の姿である」などのまとめがあり、稲荷副委員長の団結がんばろうで更なる組織拡大を誓い合った。



第19回 組織拡大・労働条件改善 経験交流集會

### 札幌闘争団が

### 東京地方本部にあいさつ

九月二〇日、東京地方本部に札幌闘争団長牧田智雄さんが見えられ、長年の闘いの支援に対する感謝とお礼を述べて帰られました。ここに御礼文を掲載します。

国鉄労働組合 東京地方本部  
執行委員長 鎌田博一様

御 礼

初秋の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。24年間にわたって闘われてきました「JR不採用問題」は、不当労働行為事件としての最大の柱でありました「雇用問題」の解決要求を実現できぬまま、残念でありながら組織的に闘争終結の「判断」がなされ、闘争の幕を下ろすに至りました。私たちは「無念の思い」と「断腸の思い」で、この厳しい現実を受け入れる決断をし、いま、人生の再出発を図るために、事業体の拡充・強化などの取り組みを開始しています。

最終的に「JRへの雇用確保」の実現を成し遂げることが出来ませんでした。しかし、JR不採用問題の全体を見ると、最高裁で「一括和解」を成立させ、国鉄改革法をよりどころにした国家的不当労働行為に対して、「経済的補償責任」を果たさせたことの意味は大変大きいものがあると思っています。勝利的解決として労働運動、権利闘争の歴史に刻まれるものと確信しています。

長い闘いを振り返りますと、東京裁判所前・国会前・省庁前等での集會や抗議行動、そして中央決起集會など、首都圏におけます闘争行動のすべてにおきまして、東京地方本部・新橋支部・上野支部の皆さんには、先頭に立って積極的な闘いを展開していただきました。

それは、まさしく政治を動かし、国鉄闘争の前進に向けて大きな原動力になったと思います。JR不採用問題解決のために、首都圏での闘争の重い責任を担っていただき、ご奮闘いただきました皆様にあらためて感謝とお礼を申し上げます。

更に、札幌闘争団の受け入れの指定地域が、東京北部(江東区・北区・練馬区・板橋区・豊島区)に決定されて以降、私たちの生活資金確保のための物資販売活動などにおきまして、担当地域や全国の皆さんに直接的に心温まる、ご援助・ご協力をいただきました。当初は慣れない都内の中で、手取り・足取りの手厚いご援助・ご協力をいただきました。時には滞在や宿泊のお世話までいただきました。その都度、私たちは、大きな励ましと協力を受け、闘争団としての任務を最も最後まで全う出来たと思います。

国労東京地方本部・国労新橋支部・国労上野支部の皆さん、長い間の札幌闘争団に対します直接的なご支援・ご協力ご厚情に、団員・家族を代表しまして、重ねて感謝とお礼を申し上げます。本当に有難うございました。

皆様のご健康と、今後もあらゆる面での活躍を祈念しまして御礼のご挨拶とさせていただきます。

2011年9月20日

国労札幌闘争団 団長 牧田智雄

### 「がん」の保障 《生きるためのがん保険Days(デイズ)》

スタンダードプラン	入院給付金日額 10,000円の場合	がんの場合 上皮内新生物の場合	一時金として 100万円 一時金として 10万円
初めに診断確定されたとき	診断給付金		
入院したとき	入院給付金	1日につき	10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき	10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき	20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき	20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに 乳がん・前立腺がんのホルモン療法の場合 (すべての保険期間を通じ通算600万円まで)	1ヵ月 10万円 1ヵ月 5万円

【引受保険会社】 アフラック東京第三法人営業部  
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル  
当社保険に関するお問い合わせ：各種お手続き

【募集代理店】 アベニール株式会社  
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F

コールセンター 0120-5555-95

電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822

### 「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在)  
生きるためのがん保険Days(デイズ)スタンダードプラン  
入院給付金日額10,000円 定額タイプ  
保険料払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

〈抗がん剤治療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

【取りまとめ先】 アベニール株式会社 東京営業所

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1 国労東京地方本部内  
JR電話 054-2548 ファックス 03-3806-9275  
電話 03-3806-9264

◎詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。 AF007-2011-0186 4月25日